

平和・環境・健康はひとつ

～八雲立つ出雲から陽が昇る～

人間自然科学研究所メールマガジン

vol.3

みなさま

令和2年度中国地方発明表彰「中国経済産業局長賞」受賞！

10月12日、小松電機産業株式会社の「クラウド型リアルタイム表示（特許第6527660号）」が、中国経済産業局長賞を受賞することが発表されました。

10月26日には授賞式が行われ、中国経済産業局長から表彰いただきます。

本発明は、スマホやパソコン、タブレット端末などの情報端末によって、インターネットからサーバー側センサー施設を経由して、水処理等の現場施設の計測データを取得し、その結果をクラウド型でリアルタイム表示する情報監視システムに関するものです。

本特許技術により、水の総合管理システム「やくも水神」において、上水道・下水道・農業用水・消雪施設・水門施設などの管理・制御をクラウド上で、リアルタイムに行うことが可能となりました。

開発プロジェクトメンバー

小松電機産業株式会社代表取締役 小松 昭夫

システム部 廣江 深

技術部 松本 康隆

設計部 稲若 和昭

元技術部 引野 幹夫

「やくも水神」は、2020年10月現在、全国470自治体、13,000施設に導入されています。



民公連携 やくも水神で真の働き方改革が始まる!!
大規模自然災害から管理システムと重要な施設データを守ります。

[発明協会 地方発明表彰](#)

[令和2年度中国地方発明表彰受賞者一覧](#)

令和2年度中国地方発明表彰受賞発表を受けて

小松電機産業株式会社 人間自然科学研究所
 代表取締役 小松昭夫

このたびは、令和2年度 中国地方発明表彰を賜り、心よりお礼申し上げます。

私共は「民公連携」を合言葉に、中海・宍道湖圏から、全国・世界に広がるソーシャル・ビジネスモデルを目指しています。

当地で生まれた「Ruby」で構築した水のIoTの先駆け「やくも水神」の更なる普及を通じて、人工知能（AI）との二人三脚で、真の地方創生に弾みがつくことを、期待しています。

今回、賞をいただきました『クラウド型リアルタイム表示の発明』は、2011年3月の東北大地震発生時の計画停電処置による水処理トラブルに際して、本発明の基礎となる

「やくも水神」を導入されていた東京の町田市様が水処理の難局を乗り切られた実績があり、このことから全国の自治体から非常に注目を浴びてきました。

これを進化させ、「クラウド型リアルタイム表示の発明」に至りました。

現在、カメラ・あらゆるセンサーとの組み合わせ、上下水道はもとより、農業用水・道路アンダーパス・ゲート・河川・雨水貯留施設、高解像度降水ナウキャスト（気象庁配信）との組み合わせなど「やくも水神」は「水の広域総合管理システム」として全国各地で、健康管理、安全性、環境保全の社会的効果の向上に寄与し、世界平和に通じるソーシャル・ビジネスモデルとして日進月歩の進化を続けています。

民公連携とは

民 = ①市民②水に関わるあらゆる事業者

公 = ③役所④官僚⑤政治家⑥学校及び学会

連携 = あらゆる水の情報をクラウド上で一元化。集まってくるデータを国民共有の財産として活用する。災害に強く、施工管理コストは安く、市民にとっても水道料金が安く、携わる民間事業者にとっても、管理監督をする公にもいい連携を生み出す。

関連動画 (9分16秒)

朝日ニュースター よみがえれニッポン対談番組
ニッポン再生・逆転の発想 「災害を考える」



対立から共生の文化へ

～日本のそして中海・宍道湖圏域の果たすべき役割～

「平和・環境・健康」「宗教・政治・経済」「感謝・感激・感動」を深く考察、中海・宍道湖圏域が「天の時・地の利・人の和」から人類史的役割を担う時が来ました。

国際分業が必要不可欠な時代に、世界はコロナ禍により大きな打撃を受け、先の見えない不安に覆われています。朝鮮半島の対岸に位置する中海・宍道湖圏域は、核大国の中国・ロシア・アメリカの対立と、日本・韓国・北朝鮮の対立が重なっています。

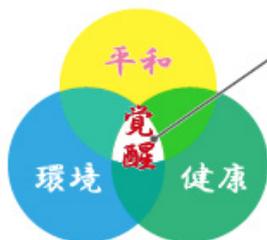
島根原発三号炉の完成を間近に控え、健康寿命を賜る、政略(原則)の上位概念の天略(原理)から、真の地方創生が始まります。

平和の定義＝戦争の無い状態は言うまでもなく、才能の開
花を妨げる社会の文化的・構造的要因も無い状態

平和は創るものです。平和は、あたりまえのようにこの世に存在
するものではありません。人間という生き物の特性を知り、その
危うさを自覚するところから学ばなければなりません。

環境の定義＝社会環境（世界人的環境・国内人的
環境）と、地球の歴史と、人類の長い営みから生ま
れる自然環境。

私達は地球をひとつの生命系として連鎖して存在してい
ます。自然破壊、経済優先、効率主義の蔓延による危
機が迫り、このままでは人類の悲劇は避けて通れないと
思われます。「豊かさの指標を変える」新しい哲学が必要
です。そしてその哲学から生まれる新しい事業こそ私
達が担うべき事業です。



「永遠の命を賜る」

健康の定義＝肉体及び精神（心と脳）が時間（神）の経
過と共に、次々と才能が開花する状態。人類は自然界で関
係性が無いと生きていけない生命体。価値観が同じで得意
領域が違う3人が語り合う状況が必要とする。三人寄れば
文殊の知恵。

人は何のために生きるのか。私は「楽しく愉快に天寿を全うした
い」と考えています。そのためには自分の才能が開花して光り輝
く状態であり続ける生き方を実践し続けるチカラが大切だと考え
ます。健康寿命を長くする秘訣はまさに自分の中に眠っている才
能を呼び起こし鮮やかに開花させることにあると考えています。

編集後記

常にマーケット創造に取り組み、新しい社会価値を創造することに喜びを感じて、社業発展に努力を惜む
ことなく邁進して来られた小松昭夫社長の経営理念は「おもしろ おかしく たのしく ゆかいに」です。人間
として生まれ、人生を全うすることの意味をこのようにお考えになり、真に社会に役立つ技術革新を追求さ
れてきた小松社長の人生は、まさに知行合一そのものだと感じています。28歳で創業、次々とマーケット
創造を成し遂げられ、誰にも負けない努力をされました。

小松社長の次なる取り組みは「真の地方創生事業」というメッセージでお聞きすることが増えています。

真の地方創生とは何か？一企業として何故取り組もうとされているのか、大変興味深いものがあります。

混迷を深める地球環境の悪化や政治不安。「おもしろ おかしく たのしく ゆかいに」を求める社会とはほ
ど遠い社会状況になっていくことを誰よりも憂えておられる姿をみるにつけ、生き方（哲学）と技術（社
会価値の創造）の融合こそ今、取り組むべきこととお考えではないかと想像しています。コロナ禍の今、
社会が一気に変化してきたと感じ、社長の行動、発言に注目していきたいと思えます。

編集人 長谷川泰二



小松電機産業株式会社



人間自然科学研究所